

◆小池アミイゴが描く天草スケッチ

小池アミイゴ（イラストレーター、絵本『とうだい』『はるのひ』〔日本絵本賞〕などを手がける）

平成 29 年 8 月、天草市内を旅してまわった 4 泊 5 日。実際に見て、触れて、感じた天草をスケッチと文章で表現しました。

天草の日常に隠れた魅力とは？



◆くるくるあまくさ

令和元年に天草に移住したイラストグラファー・つくしが、くるくると天草をめぐる中で見つけた推しスポット



◆天草小百科

天草にある観光資源（棚底城跡、海に浮かぶ博物館あまくさ、下田温泉、天草陶石など）



◆天草の窯元

それぞれの特徴を生かしたやきものを製作する 25 の窯元



◆天草ゆかりの文学・人物

五足の靴のほか、天草の歴史と風土がはぐくんだ人々や天草らしさを体現した 25 人



「燈台下暗し」ということわざがあります。人は身近な「風景」に気が付かなかつたり、見逃してしまつたりするものです。

「Feel good Amakusa」は、天草に暮らす皆さんに、周辺で受け継がれてきた歴史や、ご自分の庭先に人知れず咲いている花に、改めて目をとめていただきたいと願いを込めて編集しました。

風光明媚な天草の姿はもちろん本の中につづられていますが、もっと日々の暮らしの中で触れる天草の魅力を伝えたいと考えました。堀口大學の「花はいろ そして匂ひ あなたはこころ そして やさしさ」という詩があります。頬をなでていく自然や風の匂いも届けたいと思います。あわせて、弾圧の歴史の中を強い意志で生き抜いた天草の人々の姿も忘れてはならないことです。

足を運んだ天草、まだ見ぬ天草、日本の第一線で活躍する文化人の皆さんに天草への想いを語っていただきました。

この一冊を手にして天草を歩いてみてください。



編集責任者・エッセイスト
伊藤 玄二郎

「Feel good Amakusa」編集にあたって

オールカラー
A5・240ページ

◆書籍の販売場所

価格：2,970 円(税込み)

場所：市内書店、市役所本庁（観光振興課）・各支所

※出版社（かまくら春秋社）ホームページ、Amazon から購入可

天草の魅力を伝える書籍

「Feel good Amakusa」発刊！

市民をはじめ、天草内外の多くの皆さんに天草にある多様な魅力をより広く伝え、未来に引き継ぎきっかけになることを願い、エッセイを中心とした書籍を制作しました。天草にゆかりのある皆さんから見た“天草の日常の中にある魅力”があふれる一冊になっています。

この書籍を手に取り、改めて天草を旅してみませんか。

☎観光振興課 ☎32-6787



天草にゆかりのある33人が執筆したエッセイ それぞれの視点から見つめた天草とは？

執筆者(敬称略)

- 吉本ばなな（小説家）
- 小山薫堂（放送作家・日本渡市出身）
- 森 まゆみ（作家）
- 高祖敏明（上智大学名誉教授）
- Vitor Sereno（駐日ポルトガル特命全権大使）
- 原田悠里（歌手・日本渡市出身）
- 芹澤和美（旅行ライター）
- 甲斐みのり（文筆家）
- 高濱正伸（花まる学習会代表）
- 山中浩史（元プロ野球選手・新和町出身）



- わらべきみか（絵本作家・イラストレーター・日本渡市出身）
- 山本起也（映画「のさりの島」監督）
- 多田稔子（田辺市熊野ツーリズムビューロー会長）
- tupera tupera 亀山達矢（絵本作家）
- せきしろ（作家・自由律俳句俳人）
- 鳥羽瀬宗一郎（ピアニスト・五和町出身）
- 堀田眞三（俳優）
- 鈴木修司（BEAMS JAPANクリエイティブディレクター）
- 加藤久美（和歌山大学観光学部・武蔵野大学しあわせ研究所教授）
- 猪口玄洋（料理人・五和町出身）
- 盛 岳郎（雑誌編集者）



- 川口 瞬（真鶴出版代表）
- Mika Stoltzman（マリンバ奏者・日本渡市出身）
- Pedro Canavaro（ポルトガル日本友好協会元会長）
- 平野有益（熊本日日新聞元編集局長）
- 余宮 隆（陶芸家・天草市出身）
- 伊知地 亮（フランスのクルーズ会社ポナン日本・韓国支社長）
- 市山富美子（陶芸家）
- 黒木 亮（作家）
- 馬田草織（文筆家・ポルトガル料理研究家）
- Alexandra Curvelo（リスボン新大学社会人文学部美術史研究所所長）
- 宇賀なつみ（フリーアナウンサー）
- 日比野克彦（アーティスト・東京藝術大学長）

